

平成 23 年 3 月 22 日

各位

総務担当副学長
柴田 良孝

教職員の出張願の取り扱いについて

標記に関して、下記の通りに実施いたしますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

記

1. 教職員からの出張願は、東北新幹線の運行再開までの間（JR 仙台駅の新幹線機能の回復までの間）、学長が特に承認した場合を除き、受理しない。
2. 東北新幹線の運行再開以後、各キャンパスの担当窓口において出張願を受け付けるが、出張日程は、当然のことながら、東北新幹線の運行再開以後の出張日程とする。
3. 現在、総務部長（出張承認を委任されている者）及び財務部長（旅費支出承認を委任されている者）のもとにある出張願については、出張目的の如何に関らず承認しない。
4. 平成 23 年 3 月 11 日以前に出張願が承認され、その出張願に基づき出張した者が東北関東大震災のために規定以上の旅費支出し帰任した場合、選択可能な経路の中で公共交通機関を利用した場合の最も合理的な経路により帰任したものとして計算した旅費を支給する。→ 委託研究等による出張の場合は、委託先の了承と領収書提出を要件として、実費精算等を行う。
5. 平成 23 年 3 月 12 日以降に出張する日程の出張願が 3 月 11 日以前に承認され、すでに旅費が支給されていた場合には、これを返還させることとする。なお、科学研究費補助金により出張予定であった場合は、この点に特に留意し遺漏のないようにすること。→ 1) ただし、特段の事情があり、かつ旅費の追加支給が不要の場合において、学長が承認したときは、例外とする。2) 学長は、これを学部長に委任することができるものとする。3) 学部長は、この場合、速やかに学長（総務部長）に連絡しなければならない。
6. 平成 23 年 3 月 12 日以降に出張に関して、出張がキャンセルされたことに伴い、キャンセル料が発生する場合や購入済みの航空券の払い戻しが不可能な場合は、本学がこれを負担する。
7. 総務部長の承認決裁を得ないで、平成 23 年 3 月 11 日以前に出張した者の（事後の）出張願は、理由の如何を問わず、受理しない。

以上